

## コミッショナーとラウンドテーブル



アメリカ連盟の資料より

はじめに

この資料はアメリカ連盟の Job Description Card と Boy Scout Roundtable Planning Guid 1983-84 P2-8 を訳したものである。「コミッショナーの概念とその任務」は前者から「ラウンドテーブルの運営、ラウンドテーブルのプログラム」は後者からの訳である。

私はこれまで英語を専門に学んだ経験はないので、訳文が堅く誤訳もあろうかと思う。しかし、アメリカ連盟のコミッショナー制度とラウンドテーブルの在り方の概要についてはご理解いただけることと思う。

この資料は59年2月に日連指導者海外研修派遣でアメリカ・カナダ両連盟を訪れた際に持ち帰ったものである。すこしでも多くの人にこれらの資料を紹介したいが、英語力不足はいかんともしがたい。すこしずつ今後もできる範囲でやっていきたいと思う。

ところで、諸外国連盟の紹介をすると外国ばかりが良くて日本は何もかも悪いのかというご叱責をうけることがある。これは誤解である。私はなにも外国連盟はすばらしいと言っている訳ではない。良い所もあれば悪い所もある。それは日本だって同様である。良い点でそれか日本の国情にあっていればどんどん取り入れればよいと思う。逆に悪い点は取り入れなければよいのである。

そんな観点からこの資料はお読みいただければと思う。

## コミッショナーの概念とその任務

コミッショナーは地方連盟とスカウト団の間の連絡調整者である。その任務は各団が最高に効果的に運営され続けるようにすることである。コミッショナーは各団の指導者たちといつも接触しておくようにする。コミッショナーは援助が必要なことが判れば彼らと話し合いをする。コミッショナーはプログラム上の欠陥を見つけ、その救済策を示唆する。団がスカウティングの理想を隊員たちに効果的に伝える時、コミッショナーは成功したと言える

## 地方連盟コミッショナー

- ・地方連盟の理事長に報告し、地方連盟の理事会、執行委員会の一員として奉仕する。また、地方連盟の全国会議代表を務める。
- ・地方連盟が団に対して行うサービスの責任者になる。
- ・定例の地区コミッショナー会議の議長を務める。
- ・コミッショナーに就任した者ができるだけ早い機会に十分な訓練が受けられるように務める。
- ・訓練、表彰、セミナー形式の討論会、意欲の向上のための年次コミッショナー協議会を計画実施する。
- ・副地方連盟コミッショナーを任命する。
- ・地区コミッショナーが十分なスタッフを整えるよう励まし援助する。必要に応じて、新たな地区コミッショナーの補充を援助する。
- ・ボーイスカウトアメリカ連盟の基準維持に責任をもつ。それには、制服、記章類の着用、プログラムの使用、その他方針や手続きなどが含まれる。
- ・活動実績の基準を判断する上で、連盟の名誉団制度を使うよう奨励する。そして、地区コミッショナーを通じて団指導者の表彰と団がこの基準を達成するようにする。地区コミッショナーを通じて、地区のラウンドテーブルでプログラムの計画、アイデア、訓練材料が紹介されるようにする。
- ・団が健全に育成されるための方策として、年間サービス計画か地区コミッショナーを通して効果的に使われるよう務める。また、登録人口調査、監査、登録更新集会、登録証交付式、ボーイズライフ誌の購読などに特に注意を払う。
- ・団の現況について理事長や理事会に常に報告する。
- ・年間のスカウト人口を増やす努力が効果的に進められるよう組織拡大・友好関係委員会の委員長と協議する。

## 地区コミッショナー

地区委員長に地区の組織状況について報告する

団へのサービス機能に関して地方連盟コミッショナーに連絡する。

- ・地区コミッショナースタッフの集会を毎月主宰する。
    - 集会ではつぎのようなことを行う。
      - －訓練
      - －問題点を見つけ解決する。
      - －表彰
      - －やる気の醸生
  - ・コミッショナースタッフの拡充
    - －副地区コミッショナー
    - －カブスカウトラウンドテーブルコミッショナー
    - －スカウトラウンドテーブルコミッショナー
    - －三ヶ団に一人の団担当コミッショナーになるようにする
  - ・コミッショナースタッフの訓練
    - －コミッショナー基本訓練の実施
    - －オリエンテーション／個人コーチの実施
    - －コミッショナーがアローヘッドオーナー、スカウターズキーを取得するよう指導する
  - ・年間サービス計画がうまく展開されるよう監督し、各団が期限内に登録し、問題点を解決できるよう援助する
    - 地区コミッショナー会議に出席し各団の状況について報告し、各団に対して特別な援助ができるようにする
  - ・地区の三者会議(地区委員長、コミッショナー、地区専従者)に出席する
  - ・カブ隊やボーイ隊が模範的な団としてうまく運営できるように「スカウティングを成功させるための10のテスト」を使うよう奨励し、名誉団を増やすよう目標を設定する  
(訳注:10テストに合格すると名誉団 Honour Unit になる)
  - ・年間のスカウト人口を調査しボーイズライフ誌の購読を勧める
  - ・アメリカ連盟の提供するプログラムに精通する
  - ・エクスプローラー部門のない所にエクスプローラー隊(Posts/Ships)のプログラムを提供する
  - ・カブ、ボーイ指導者の定例のラウンドテーブルでプログラムのアイデア、計画、材料の紹介する
- 団担当コミッショナーが繁に各団を訪問できるようなシステムを確立、維持するよう常に団が発展するよう必要な記録を整え、日常的に評価するよう指導する励ます
- ・常に団が発展するよう必要な記録を整え、日常的に評価する

## 副地区コミッショナー

- ・担当地域の奉仕する団担当コミッショナーの人数を整える
- ・地区コミッショナーか団担当とラウンドテーブル担当コミッショナーを訓練するのを助ける
  - －個人コーチ／オリエンテーションセッションを担当する
  - －定型基本訓練コースに参加する
  - －団担当コミッショナーがアローヘッドオーナーやスカウターズキーを取得できるように援助する
- ・毎月の地区コミッショナー会議に出席する
- ・地方連盟コミッショナー協議会に出席する
- ・団担当コミッショナーのいない団を担当する
- ・自分の担当する団担当コミッショナーと常に接触しておくようにする
  - －団の長所と短所を評価する
  - －団の問題点の解決に援助する
  - －定形外訓練、プログラムのアイデア、表彰などの情報を提供する
  - －団担当コミッショナーが団委員会やスカウティング協力者、育成団体とうまく協働できるように援助する
- ・少なくとも四ヶ月に一度は団担当コミッショナーの実績を評価し、必要なら援助して担当する団に効果的な奉仕ができるような自信と専門的知識を身に付けさせる
- ・地区や地方連盟が重点としているプログラムを支援する
- ・カブ、ボーイ隊にアメリカ連盟が提供しているプログラムをよく知っておくようにする
- ・担当する団への年間奉仕計画の展開について監督する
- ・地区コミッショナーから要請されたその他の分担を引き受ける

## ラウンドテーブルコミッショナー

- ・地区コミッショナーに報告する
- ・毎月のラウンドテーブルを実施する
  - －例のラウンドテーブル計画をたてる
  - －地方連盟の次年度ラウンドテーブル計画会議に参加する
  - －地区専従者や地区コミッショナーと地方連盟の作ったラウンドテーブル計画の原案を検討し地区の計画にあうよう調整する
  - －月例のラウンドテーブル計画会議を主催する
  - －連盟本部発行物を使う:スカウトまたはカブスカウトラウンドテーブルスタッフガイド、ラウンドテーブル計画表、スカウティング誌、プログラムヘルプスボーイズライフなど
  - －人的資源を持っている人(resource people)にどんな貢献をしてもらえるか判断し参加してもらうよう調整する

- ・プログラムの一部、プロジェクト、会場の準備、応接、参加を扱うラウンドテーブルスタッフを必要に応じて補充する
- ・ラウンドテーブルスタッフを訓練する
  - －スカウトまたはカブスカウトラウンドテーブルスタッフガイドを使う
  - －事前によく作業しておき、ラウンドテーブルプログラム計画案をきちんと分担する
  - －分担を担当した人の作業を最後まで見守る
- ・コミッショナースタッフから援助してもらうようにする
  - －地区コミッショナースタッフ会議で定期的にラウンドテーブルの計画を報告する
  - －団担当コミッショナーがラウンドテーブルに出席するよう地区コミッショナーの協力を得る
- ・ラウンドテーブルの出席を促進する
  - －新しい指導者をラウンドテーブルに連れてきてもらうよう団担当コミッショナーの協力を得る
  - －参加していない団の出席を追求する
- ・ラウンドテーブルの評価をする
  - －最低年2回はラウンドテーブルがうまくいっているかどうか点検する 一団担当コミッショナーに参考意見を求める

### 団担当コミッショナー

- ・適宜に地区コミッショナーまたは副地区コミッショナーに報告する
- ・カブとボーイのプロジェクトテーマについてよく知っておくこと
- ・団のプログラムに使う連盟公認の出版物について知っておくこと
  - －団のプログラムをたてる手順を知る
- ・担当するカブ、ボーイ、エクスプローラー隊の集会を定期的に訪問すること
- ・隊指導者と常に接触を持つ
  - －新しく指導者になった団指導者の相談にのり援助する
  - －少なくとも毎月団の指導者を訪ねるか電話する
  - －団指導者に地区や地方連盟の活動についての情報を継続して流す
  - －名誉団賞の取得に向けて団が進歩しているかどうか団指導者と定期的に検討する
  - －プログラムの立案を援助する
- ・定期的に団委員会と接触する
  - －団委員会を訪問する
  - －計画、財政、再登録、団の指導力、新規募集などの問題について援助する
- ・スカウティング協力者に援助するため定期的に接触をする
- ・登録人口調査、監査、再登録集会、登録証交付式を援助するなど年間サービス計画で団を指導する

- ・再登録集会のあと育成会長と会い、団の進歩状況を説明し登録証交付式の実施について調整する
- ・毎月の地区コミッショナー会議に出席する
- ・欠の訓練を受ける
  - －個人コーチ／オリエンテーション
  - －基本訓練
  - －アローヘッドオーナーとスカウターズキー
  - －地方連盟コミッショナー協議会
  - －常にラウンドテーブルに出席する。全ての団指導者に出席を勧め、新人の団指導者を連れて来る
- ・団の近く、地区、地方連盟で手に入る資料、資源(resources)について知っておく
- ・エクスプローラー隊に奉仕できるよう準備を整えておく

## ラウンドテーブルの運営

ラウンドテーブルという名前をちやかしてはいけない。

ラウンド(round＝まわるという意)だからといってまわる必要はないし、テーブルがいる訳でもないラウンドテーブルは失敗を慰めあったり、古い問題について意見を交換する場ではない。また、討論のグループ・やお通夜や反省会でもない

### ラウンドテーブルとは

- ・訓練を受けたりノーハウを学ぶ場である
- ・地区の最も重要なただ一つの機能である
- ・プログラムを実際に行ってみる場である
- ・隊にプログラムを伝えるのに最も効果的な手段である
- ・どここの地区でも行なうことができるというものである

### ラウンドテーブルの果たす役割

- ・隊を運営していこうという指導性を養うことーやる気、熱意、インスピレーション、そしてビジョン。それらか今後もやっていこうという気持ちを定期的に新たに作る
- ・技能を身に付けることー技能、テクニク、情報、プログラムアイデア(隊の運営をうまくやっていくためのノーハウ)

### だれが出席するのか

ラウンドテーブルは、隊長、副長、団委員など全ての隊関係者のために企画されたものである。プログラムによってはウエベロスリーダー(訳注身日本の月の輪リーダーにあたる)も含まれるべきである。

団担当コミッショナー(Unit Commissioner)は自分か担当するリーダーが出席するラウンドテーブルには出席する。これは、団担当コミッショナーはカブとボーイの二つのラウンドテーブルに出席することを意味する。

### どうすればラウンドテーブルがうまくいくか

リーダーたちは以下に述べるような時に集まるものである

仲間意識を心から感じられる時、参加するリーダーたちは自分が必要とされており、重要な一員だと感じなければならない

- ・セッションに応じて別々の自分の役にたつプログラムがある時、カブのリーダーたちはボーイのプログラムについて余り議論しながらないし、逆にボーイのリーダーたちはカブのプログラムの実演を見るために貴重な一時を過ごしたくないものである
- ・参加するリーダーたちにとって、来月の自隊のプログラムに使うことができるものがあつたと明確に感しられる時

- ・学習はただ聞いているだけよりは、実際にやって見せたり注意深く観察することのほうが学ぶものである。理想的にまずは観察をさせ、その後に実際にやらせてみる
- ・常に信頼できるスケジュールがある時、これは、決まった夜の決まった時間に始まり、終わるということである。ラウンドテーブルを月初めに開催すれば、月末の隊プログラムに新しいものを加えることができる。
- ・ラウンドテーブルのあらゆるプログラムが充分に考えて計画され、慎重に準備されたものすぐに実行にうつせるものであつた時、次の月の出席を左右する最も重要な要素は今月のプログラムにある
- ・快適な設備、会場である時
- ・事前に充分に計画し分担する
- ・次の)]のテーマのことを少しいれておく
- ・上手な司会者を使うこと
- ・隊のリーダーたちが使うことのできるような実際的なものをいれる
- ・隊リーダーに実際にプログラムをやらせよう
- ・参加者全員が加わるものをある程度いれる
- ・参加者が座って居り、聞いているだけより身体を使い実際にやってみることを重視する
- ・プログラムで使った材料がその場で入手できるようにする
- ・仲間意識とやる気になる雰囲気、そしてプログラムの最後には軽い飲み物を出してくつろげるようにする
- ・常に積極的に、そうすれば、成功は確実である

### いつ何処で

ラウンドテーブルはできれば毎月、同じ日、同じ時間、同じ場所で開くべきである。しかし、その地区の地域的事情から会場を巡回する方がよい場合もあるのでどちらにするかは慎重に決める。集会場所は決まった場所が最もよいという傾向が強い。

団のスケジュールを調べて最も多くの団が出席できる日を選ぶ。この日程が宗教上の祭日や祝日の前後にならないように注意する。そして、年間のラウンドテーブルのスケジュールを発行する。スケジュール表を各団に配布し地区コミッショナーに県連、地区のスケジュールに入れてもらうよう依頼する。場所を選ぶ時、テーブル、椅子、軽い飲み物が出せるような設備、動けるようなスペースお手伝い、駐車場、暖房装置、照明、換気装置、コンセント、黒板、電話、救急 照具、出入り口喫煙ルール、そしてさらにはコート掛けの場所など1こついで考慮する。

### 隊のことを考える

ひとつ質問をしてみよう。「われわれは、ラウンドテーブルを持つことをなぜ第一に考えるのかそして、それは誰のためにか？」これにはいくつかの答えがある。ラウンドテーブルの主な目的は、隊がうまく運営されることである。ラウンドテーブルのプログラムは次の月の隊集会プログラムの大半をしめるであろう。隊長にとっての目的は、スカウティングを通して少年

を成長させることであり、その仕事は隊のプログラムを計画、運営し少年リーダーたちを訓練し導くことであるラウンドテーブルはこうしたことが隊長たちにできるように明確な材料を与えるべきである。

### 参加の推奨と広報

もしハリウッドが作品を宣伝しなければならないと考えた場合、観客が観にこないのは何が原因だと考えるだろうか？ 常に出席してもらうための最高の保証は良いプログラムを展開することだが、コミッショナーは先ず忙しい隊長たちの注意を引いておかなければならない。あなたか持っている資料やスタッフ(reources)を使って、ラウンドテーブルは「町一番のショウだ」ということを宣伝しなさい。これは決して誇張ではなく、スカウターがラウンドテーブルにできれば役にたつことや面白いことを人より少し先に手にいれられると思わせることだ。県連盟の会報絵ハガキ、車の相乗り、新しい工夫などあらゆるものに出席を促すために使うべきである。あるコミッショナーは案内状に鍵をつけたものを団指導者に送り、この鍵でラウンド テーブルのドアをあけ、どんなことが行われているか観て欲しいと誘った。自然に、この団指導者たちは立派なラウンドテーブルの価値が判ってきた。出席表、表彰、参加者、プログラム、これら全てが団指導者を引きつける。しかし、プログラムだけが毎月毎月彼らを引き留めておくものだというのを忘れてはならない。スカウターたちは、以下に述べるような時に出席するものである

- ・本当の仲間意識が感しられる時
- ・自隊で使うことのできる明確なプログラムが入手できる時
- ・単に聞くことでなく、実際に行うことによって学べる時
- ・スケジュールが常に確立している時
- ・会場が快適でスムーズにやれる時
- ・来月の出席率を保証する最も重要な要素は、今月のプログラムにある

### ラウンドテーブルの班

ラウンドテーブルの運営に班制度を使えば、出席を促すにもラウンドテーブル精神を育てるにもおおいに役立つということは判っている。ラウンドテーブルのスタッフは各班のアドバイザーになり、討論の際はリーダーになる。班のアドバイザーは自分の班の班員の出席を促す。

班を担当するスタッフはラウンドテーブルのプログラムを担当しない。新しい技能やプログラムについての討論、意思決定は小集団で行う時が最もよく達成される。隊長が班制度を自分の隊ですでに使っている場合は、こうした利点をよく知っている。逆に班制度を使っていない隊長は、ラウンドテーブルを経験することによってその価値がよく判るようになる。

### ラウンドテーブルのスタッフ

ラウンドテーブルのスタッフはただ一つの責務しかない。それは、質の高いラウンドテーブルを計画し実施するということである。ラウンドテーブルの規模に応じて数人の スタッフが必要だし、運営に当たってはそれを分担する必要がある。ラウンドテーブルをうまくやるためには、喜んで奉仕する数人のスタッフが必要である。スタッフには、ソング指導、クラフト技能、工作技能、ショウマンシップ、企画技能などの能力を持った人たちが最もよく必要とされる。ラウンドテーブルの参加者はスタッフの態度や気風をよく反映するものである。したがって、スタッフがなにか特別な技能を持っている以上にラウンドテーブルのスタッフが人に熱意かうつような資質を必須のものとしておくことが重要である。コミッショナーとしてあなたが、スタッフとして適当な人を探す場合、まずどんな種類の人を必要としているかを決めなければならない。スタッフとして必要とされる才能や資質についてのリストをつくる。地区コミッショナーや地区の専従者をこのリストを作る時にぜひ入れておくべきである。コミッショナーのスタッフ会議で、ブレーションディングをして候補者の名前をあげる。団担当コミッショナーは、団や地区の活動で特別な技能をもっているような、候補者としていい人を知っているものである。候補者を評価、ランク付けしリストの上位者 から依頼する。誰か候補者を知っている人があれば、スタッフに就任してもらう話をするための予約を取たり一緒に行ってもらえる。

### ラウンドテーブルを成功させるためのヒント

ラウンドテーブルのプログラムに関してのアイデアや提案を年に1回は隊長たちに聞く。コミッショナーの作業表(Commissioner Worksheets)に各団の指導者たちからどんな一般的要望が出ているか団担当コミッショナーに聞く。ラウンドテーブルは国、県、地区のプログラムを支援しなければならないし、団がそれに対応できるよう援助する。ラウンドテーブルを実演、技能、プロジェクトなどを使って活発化させることが活動的な参加につながる。スケジュールを守る。時間どおりに始め、時間どおり終わること。各プログラムはその許された時間の範囲内で行うべきである。ラウンドテーブルの計画と実施はボランティアのスタッフで行うべきである。スタッフのスカウティングにおける唯一の仕事は良いプログラムを実施することである。スタッフはそれぞれ担当するプログラムについては責任を持たねばならない。 ラウンドテーブルコミッショナーはスタッフチームの調整役として奉仕し、司会を務める。スタッフはラウンドテーブルスタッフとして登録し、その担当するセクションのユニフォームを着て左袖にラウンドテーブルスタッフのマークをつける。

### ラウンドテーブルのプログラム

#### 開会式前

開会前は、出席の登録、軽い飲み物、展示、需品等の販売、技能練習などが行われる。開会前の活動は参加者が来たらすぐに始めるべきである。この活動はその日のラウンドテーブルのテーマと係わりのあるものであるべきである。開会前の活動は普通初歩的な技能の

修得に基礎がおかれている。これらはあまり時間を取ったり用意に手間か掛かってはいけない。開会前の活動は少年程度のレベルで参加者が楽しめるようなものでなければならない。隊長たちは次の班長会議の参考となるような活動を期待しているだろう。これはラウンドテーブルのプログラムの核心部分であり、面白くて価値のある夜になるだろうと思わせるように計画されるべきである。

## 受付

受付では基本的には次の四つのことを行う

- 1 リーダーたちを心から歓迎する
- 2 出席者の名前を記録し名札を渡す
- 3 参加者に軽い飲み物をセルフサービスで取るようすすめ、そして、すぐに参加するよう勧める
- 4 開会前の活動について説明し、必要な材料は渡すそして、すぐに参加するよう勧める

## 軽い飲み物

リーダーたちが「歓迎」されていると感じるようにする誰でもできるひとつの方法は彼らが着いたらすぐに軽い飲み物を出すことである。集会で軽い飲み物を飲むには一時間またねばならないなどと誰がいえるだろうか？集会に出るために交通渋滞と闘ったり、かなりの距離を運転してきた人は誰でも暖かい歓迎とちょっとした軽い飲み物のもてなしを受けるべきである。

## 開会

時間の通りに始める。これはいかなる集会であろうとも成功するために大切なことである。簡単なセレモニーは集会の良い点火剤になる。何故なら、参加者の気持ちを落ち着かせるからである。セレモニーは単純で最小限の備品で行われるべきである(そうであれば隊長達はそれを使いたがるだろう)

## 技能の実施訓練(Demonstration)

技能の実地訓練はテーマに関するものをする。どんな技能を紹介しようとも、ある参加者には初めてのものであり、その他の人にとっては馴染み深いものである基本的な技能についてはさまざまなやり方で見せること。

技能の実地訓練を担当した者は、計画を立てる時の集会でラウンドテーブルのスタッフに技能を教えるおかねばならない。実施訓練が終わった後班のアドバイザー班員全員ができるようになったか確認する。

もし「外部の専門家」を使う場合は、その人にラウンドテーブルの目的とどんな種類のものをしてほしいか事前に言うおかねばならない。

技能を単に使うのと他の人たちが学ぶように実地訓練をすることは異なったことである。若干の示唆をここに示しておこう。

## 実施訓練の準備

できるだけ自然に見えるように計画する。たとえ、あなたが実際に行っているのと同じように正確にやってみせられないとしても。

- ・必要な備品を集め準備する
- ・技能に対して参加者が現在のどの程度知っているか判断し、どの程度まで教えるべきかを決める
- ・やり方を説明する必要がある場合は、よく考えてコメントについてのノートをできれば作っておく
- ・スムーズにできるよう繰り返し実際に練習する、時間のかかる実地訓練は、その手順をき止めておく
- ・参加者に注意して見ていて欲しい主な点を簡単に言う
- ・学ぶ際に難しい所はスピードを調整する。そして、終わり頃よりは最初の所をゆっくり教える
- ・参加者たちの反応に注意し、細かい部分を調整し、参加者の動きにあわせてペースを配分する
- ・重要な手順はやって見せている時か全部やり終えてから、必要に応じて繰り返す
- ・注意するために間違ったやり方を見せる時は、その前後に必ず正しいやり方をして見せる

## 実施訓練のまとめ

重要な手順を順番にもう一度見せる参加者に質問の機会を与える。もっと良いのはあなたが指導している時、練習の機械を与えることであるここでは班のアドバイザーの指導の下で参加者は他のリーダーと一緒に来月のテーマについて学ぶ、その際、リーダーたちは同じかよく似たものに取り組むどこかの団で実施した良いプログラムのアイデアはここで他の人とやって一緒にやってみるべきである。一人の隊長がいいアイデアを説明しやってみせるより、この方法はよいやり方である。参加者は実際に練習しながら、とうしたらこの技能を来月の隊プログラムの柱にできるか討論する。

## 対班活動

これは班集会で練習した技能を使って、班対抗のコンテストといった形にすることができ、もしくは、班の討論から生まれた最高のアイデアを全体の全体の物にすること「班報告」という形にすることもできる。

## 閉会

ラウンドテーブルの閉会は四つの部分からなっている。この閉会の部分は、参加者が何を家に持って帰るかを定めることになるという点でラウンドラウンドテーブルの重要な部分一つである予定されている催しを簡単に説明する。お知らせは教会の会報のようにコピーして配ってもよい。地方方連盟の会報は、もし実際のであれば使える。そうすれば、催しによってはお知らせの目玉になる。

## 表彰

ラウンドテーブルはスカウティングの外で何か名誉なことをスカウターを表彰する絶好の機会である。これは簡単に「今晚の我々のなかで...さんは」という形でできる仲間に表彰されることは自分のしたことが価値あることが価値あることだと実感できることでありその人にとっては重要なことである。

## 隊長の一言

閉会儀礼の直前に示唆に富んだ話をする

## 閉会儀礼

この部分は最高に示唆に富んだものになるので、できるだけシンプルにする。そうすれば参加者たちは自分の隊の集会で使ってみたいと思うだろう。

これは10分以内の短い展示と「今月の仕掛け(gimmick-手品なのしかけ、種、からくりの意)」についての討論の場である。これはその出し物(例えば、紙クリップを使った磁石)または、仕掛け(例えば、使っているアルミの水筒をきれいにしておくには)などを持っている人は誰がやってもよい。

仕掛けについてはこの本の中にいくつか紹介した。これらは他のボーイスカウトの本にはまだ載せていない。

## 冒険クラブ

別紙の作業表を使って事前にスケジュールをたてる。そして、ラウンドテーブルを成功させるために入手できるあらゆる資料、資材を使う。この表を使うには、まずラウンドテーブルの開催日を決め、この表にある日程に従ってプログラムを計画し組み立てていく。ラウンドテーブルのプログラムに特別な才能や趣味を持っている人、職業人、専門家など団の指導者や技能章の指導員またはその地域のエキスパートを呼びたいこともあろう。しかし、団に対してはプログラムのかなりの部分を占めるような割り当てをしてはならない。これは、そのリーダーにとってあまりに過大な要求になる。そのリーダーはすでに少年リーダーたちに教えたり、相談に乗ったりして十分にその分担を果たしている。彼の役目はボーイスカウトたちにプログラムを教えることだからである。別な言い方をすれば、ある分野のエキスパートのリーダーにその知識をラウンドテーブルで指導してもらうことを頼むのは良いが、その場合には余分に負担を掛けさせるような準備をさせないようにすることである。

## プログラムを作る上での手助けになるもの

ボーイスカウトをうまくやっていく秘訣はなにもない。うまくやっていくには、巧みなリーダーシップとわくわくするようなプログラムである。あなたはリーダーシップを備えている。あなたがプログラムを作る際、黙って助けてくれるものが三つある。それは、参考になるプログラムが掲載されている“ボーイズライフ誌”と“スカウティング誌、それにボーイスカウトリーダープログラムノートブックである。ボーイズライフ誌は隊か地区のサービスセンターに購読の申し込

みをしたボーイスカウトに郵送される。登録してあるボーイスカウトや指導者は定価の半額になる。この雑誌は技能、他の隊の活動の話、小説などすばらしい記事と少年や班、隊できるアイデアが載っている。この雑誌の最も良いところはスカウトたちに直接送ってくるというところである。ボーイスカウトプログラムヘルプスはスカウティング誌の連載記事である。この記事のコピーが余分に欲しい時は地方連盟か地区で入手できる。この出版物は、あなたがプログラムをたてる際に幅広い選択ができる助けになるであろう。この連載記事はプログラムを展開していく上での基本となるように作られている。ボーイスカウトリーダープログラムノートブックはアイデアや計画をちょっと書き留めておくスペースや隊長や班長会議のメンバーが毎月のプログラムの詳細を記入できるようになっているこのノートは計画をたてるのに最も役にたつし便利である。地方連盟のサービスセンターで入手できる。